



vol.17  
2022.10

# 呉支部だより

広島県看護協会呉支部会員数

保健師	32人 (入会率33%)
助産師	59人 (入会率73%)
看護師	1,677人 (入会率53%)
准看護師	54人 (入会率 5%)
合計	1,822人 (入会率40%)

CONTENTS ① ごあいさつ ② 支部活動報告 ③ 地域との連携 ④ 事業計画と事業報告/役員一覧

## ごあいさつ

# ～Withコロナ2022年 地域に広げよう呉支部活動～



副支部長 阿賀岡 礼子

令和4年度より、広島県看護協会呉支部の副支部長を務めさせていただきます、呉やけやま病院の阿賀岡礼子と申します。支部会員の皆様には日頃より呉支部活動にご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染者が国内で確認されてから2年半が経過しました。コロナウイルスは変異を繰り返しながら、今なお高い水準で感染者数が推移しています。収束の兆しも見えない状況のなかで、公私ともに感染対策に取り組みながら看護を実践されている多くの看護職員の皆様に敬意を表します。

呉支部は昨年度「Withコロナで看護力・連携力UPをめざそう」と、感染対策を講じつつ、支部会員の皆様の協力を得ながら、研修会、交流会、進路相談会など一部活動を再開することができました。今年度は「Withコロナ2022年地域に広げる呉支部活動」を念頭に、5月より広まちづくり

センターに会場を移し、まちの保健室を再開しています。広島県看護協会の令和4年度事業計画の中に、支部が中心となり、県民の健康な生活を実現するために、医療機関と連携し、地域住民の健康維持・増進の普及啓発を目的として「まちの保健室」を開催するという項目があります。いろいろな災害を経験する中で、支部の活動を通じて、地域の中で顔の見えるつながりができたことは、私自身大きな心のよりどころになりました。コロナ禍だからこそ、看護師が持っている力を最大限にいかし、地域の人が安心して生活できる地域づくりに貢献していければと思っています。

社会経済活動が進められる一方で、感染状況は厳しい状態が続いています。支部活動においては十分な感染対策を講じつつ、地域に広げる活動を継続していけるように努力してまいります。どうぞよろしく願いいたします。



# 支部活動報告

## 地域看護連携交流会

日時:8月30日(火) 15:00~16:30  
場所:呉共済病院

テーマ:地域包括ケア時代を迎えるための骨粗しょう症予防への取り組みについて考えよう  
～安全に安心して地域で生活できるようにするための支援～

呉市福祉保健課の要田弥生専門員より「呉市の骨粗しょう症重症化予防プロジェクトについて」、呉共済病院骨粗しょう症マネージャー渥美綾子看護師より「急性期病院から回復期病院、そしてクリニック・地域への連携」の講演がありました。その後グループに分かれて「骨粗しょう症予防、看護職として明日か

ら取り組めること」について活発な意見交換を行いました。研修終了後には名前と顔をしっかり覚えていただき、施設を越えた顔の見える連携を目指した交流の場ともなりました。



## 「救急蘇生」初級コース

日時:9月14日(水) 12:45~17:00  
場所:呉共済病院

救急看護認定看護師の川上礼子さんより急変患者の対応とシミュレーションを受講しました。参加者26名でした。参加された皆さんより「自施設に持ち帰

り、他のスタッフと共有していきたい」という声が聞かれました。この研修を機に各施設でBLS研修が拡大することを願っています。



## Withコロナをめざして!!! 呉支部事務所「Web環境」が整備されました! ～第1回施設代表者連絡会をWebで開催～

新型コロナウイルス感染症第7波の影響でどの施設におかれましても、職員の濃厚接触者や陽性者またクラスター発生など大変な状況が続いています。昨年までは会議や研修会など中止せざる負えない状況でした。

しかし、今年度からは「Withコロナをめざして」どうしたらできるかを考え、Web会議にチャレンジしました。まずは、8月5日に呉支部役員会を行い、その後8月12日施設代表者連絡会を開催しました。問題なく

無事に終了することができました。これからもしっかり活用していきたいと考えています。





## まちの保健室(常設型)の紹介 ～2年ぶりに再開始しました～

2020年より新型コロナウイルスの感染症の拡大で「常設型まちの保健室」の開催はすべて中止となり、2年ぶりに5月より再開始となりました。

場所を藤三広店の商業施設から広まちづくりセンター 1階図書館前に移し、5月～11月(8月を除く)年6回、第3水曜日の14時～16時 呉支部役員と呉支部協力員2名で行っています。

「まちの保健室」の目的は「地域住民を対象にさまざまな健康ニーズに関する相談等に対応し、地域住民の健康づくりを支援する」とあります。内容は①健康チェック(血圧測定・体脂肪測定)②物忘れチェック(認知症相談など)です。「物忘れチェック」はふたば病院・ほうゆう病院の協力員の方が担当され、来場者は協力員の説明に耳を傾け「心配なんよね」「安心し

た」など会話がはずみ一番人気でした。今後も感染対策をしっかりとおこない「withコロナ」で継続していきます。



## 皮膚・排泄ケア認定看護師(WOC)と 在宅訪問看護師と地域との連携

呉医療センター 皮膚・排泄ケア認定看護師  
大田百恵 榎智子

当院は、毎週木曜日午後にはストーマ外来を行っています。毎回4～6名の患者さんに対応し、2021年度の延べ患者数は334名でした。主に当院でストーマを造設された患者の退院後の生活指導、皮膚障害の確認、ストーマ装具の変更・評価などを行っています。

退院後、ストーマ管理を訪問看護師さんに介入していただく患者さんもおられます。現在、訪問看護を導入されている患者さんで、広島県看護協会訪問看護ステーション「そよかぜ」の訪問看護師さんより、自宅でのストーマ管理についてサマリーにて情報をいただいています。普段の患者さんのストーマ管理について、患者さんからの情報では適切なアドバイスをすることが難しい場合もあります。その場合、サマリーで情報をいただくことで、経過を知ることができ適切なストーマ管理の方法を伝えることができます。またこのような連携を取ることで、患者さんの不安の軽減や安心感にもつながると考えます。ストーマ造設後から退院後の患者さんの生活をサポートできるよう、これからも地域で連携を深めていきたいと考えています。



ストーマパウチのグッズ一例

## 令和4年度 事業計画と事業報告

年月日	場 所	項 目	内 容
7月23日(土)	中国労災病院	看護研究発表会	新型コロナウイルス感染症の蔓延により延期となりました。 看護研究発表会11/26予定。
7月23日(土)	中国労災病院	進路相談会	新型コロナウイルス感染症の蔓延により延期となりました。
8月30日(火)	呉共済病院	地域看護連携交流会	骨粗鬆症重症化予防の取り組みについてディスカッションしました。
9月14日(水)	呉共済病院	救急蘇生	救急医療の現状を知り、心肺蘇生法の方法、看護師の役割を学びました。
9月17日(土)	呉共済病院	会員交流会 「太極拳」	呉支部会員の親睦のため看護連盟と協賛です。健康維持・増進に結び付けていきました。
10月15日(土)	呉医療センター	社会経済福祉研修会 「メンタルヘルスケア」	「自分への思いやり」「ネガティブな考え方への適切な対処」を学びました。
11月12日(土)	済生会呉病院	組織強化研修会 「摂食嚥下障害看護」	摂食嚥下障害の看護を学び、日ごろの疑問・悩みを解消しましょう。
5月～11月 (8月を除く)	広まちづくりセンター	地域看護事業 常設型 まちの保健室	第3水曜日 14時～16時 2年ぶりに再開しました。
4月29日(土)	呉みなと祭	イベント型 まちの保健室	新型コロナウイルス感染症の蔓延により中止になりました

## 令和4年度 支部役員一覧

役員名	氏名	役員名	氏名	役員名	氏名
支部長	隅谷 敬子	財務担当	金行真理子	社会経済福祉担当	山崎ひとみ
副支部長	下唐湊かつみ	教育担当	菅原 葉子	社会経済福祉担当	大塚 晴美
副支部長	阿賀岡礼子	教育担当	大室亜希子	事務職員	石川 順子
総務担当	木村奈生子	教育担当	谷口 葉子		

### 編集後記

いつも呉支部活動にご協力いただき、ありがとうございます。  
今年も役員一同が協力し、呉支部活動を行ってまいります。みなさまの声を反映した研修会や会員交流にしていきたいと考えております。今後ともご意見・ご協力をお願いいたします。

支部役員一同・広報担当：山崎・大塚

[発行日] 令和4年10月31日発行

[発行所] 公益社団法人広島県看護協会 呉支部事務所  
〒737-0141 呉市広大新開2-3-3 2階  
TEL/FAX:0823-73-6522  
E-mail: s-kure@nurse-hiroshima.or.jp

[発行責任者] 隅谷 敬子